

## Press release

報道関係各位

2007年9月26日

### 世界銀行、サウジアラビアを世界有数のビジネス環境先進国のひとつに認定 ～ サウジアラビアへの直接投資額、日本がトップ、欧米諸国を上回る ～

世界銀行は本日、年次の「Ease of Doing Business(ビジネスのしやすさ)」に関する報告書においてサウジアラビア王国を世界有数のビジネス環境の整った国のひとつに認定しました。サウジアラビアは最近のビジネス環境の改善を通じ、世界銀行のランキングにおいて前回の178カ国中38位から23位に上昇しました。

この報告書では、サウジアラビアがクウェート(40位)とUAE(68位)を上回り、中東およびアラブ地域において最もビジネスに適した場所とされました。また、フランス(31位)やオーストリア(25位)などの先進諸国よりも上位にランクインしました。この改善について、「ビジネス環境の現状2008」の共著者であるジャマール・ハイダー(Jamal Haidar)は、「サウジアラビアは今年大胆なビジネス改革を実施し、世界有数のビジネス環境先進国のひとつとなりました。現在、中東でトップの経済先進国となっています。この改革により、サウジアラビアは今後も企業がビジネスを行いやすい国としてその地位を維持するでしょう」と述べています。

日本は、昨年サウジアラビアに35億米ドルの直接投資を行いました。これは同国への海外投資のじつに19%を占め、最大の投資国となっています。また、日本の安倍晋三前首相は、2007年4月、二聖モスクの守護者アブドゥラー・ビン・アブドゥルアジーズ・アールサウド(Abdullah Bin Abdulaziz Al-Saud)国王、ならびに副首相兼国防・航空相兼監察長官であるスルタン・ビン・アブドゥルアジーズ・アールサウド(Abdullah Bin Abdulaziz Al-Saud)皇太子殿下と会談し、サウジアラビア王国と日本の間において、戦略的かつ多層的関係の発展について合意しました。

この合意を受け両国の首脳は、民間機関との協力も視野に入れ、サウジアラビア王国における日本の戦略的な長期産業投資を促進し、財務、制度、技術、および人的資源の最大限の活用を目的とした専任の合同タスクフォースの設立に向け準備を始めました。

日本とサウジアラビアの強い協力関係を表す例として、サウジアラビア国営石油会社のサウジ・アラムコ社と住友化学の合弁会社であるペトロ・ラービグの設立や三菱グループとサウジ基礎産業公社(SABIC)の合弁事業などが挙げられます。

今年度のランキングにおけるサウジアラビアの卓越した実績は、サウジアラビアの人々の更なる繁栄を目指すアブドゥラー国王のビジョンが反映されています。サウジアラビアのビジネス環境近代化の最大の提唱者である国王は、新たな外国企業投資法の制定、サウジアラビア総合投資院(SAGIA)の設立、国営企業の民営化、およびWTOへの加入を通じて国内外からの投資拡大を図りました。

その後、SAGIAのアマル・アールダッバーグ(H.E. Amr Al-Dabbagh)総裁は「National Competitiveness Center(NCC)」の設立と「10 by 10」イニシアティブの開始により、同国経済の自由化を推進してきました。「国王陛下のリーダーシップの下、サウジアラビアは競争力の重要性を認識し、2010年までに世界で最も高い競争力を有する上位10カ国に入る(10 by 10)という目標を設定しました」とアールダッバーグ SAGIA 総裁は述べています。

サウジアラビアは海外からの直接投資において中東トップの座を獲得するなど、この改革による成果はすでに現れ始めています。資金の流入額は、この2年間で20億米ドルから180億米ドルに拡大しています。巨大な投資機会で世界有数の企業を魅了しているサウジアラビアの経済特区である「Economic Cities」の発展に伴い、この数字はさらに急速に成長すると予想されます。その過程における、今回の世界銀行ランキング38位から23位への躍進は、この「10 by 10」という目標達成に向けた大きな一歩となるものです。

こうした一連の成果は、投資家にとって魅力的なビジネス環境の構築に、また、サウジアラビアの人々にとっては生産性の高いより繁栄した経済の構築に向けて、同国政府をさらに勇気づけるものです。SAGIA と NCC は、今後もサウジアラビア経済の競争力の向上に向けて中心的な役割を果たしていきます。

鈴木紀子  
サウジアラビア総合投資院  
tel: 03-5573-4186  
mob: 090-2528-1710  
email: nsuzuki@sagia.gov.sa

野田/ロール  
ヒル アンド ノウルトン ジャパン株式会社  
tel: 03-5768-8400  
email: russell.roll@hillandknowlton.com

Karina Manasseh  
世界銀行国際金融公社  
tel: +1 202 458 0482  
mob: +1 202 422 5274  
email: kmanasseh@ifc.org



写真左:  
サウジアラビア総合投資院(SAGIA)のアマル・アールダッバグ総裁



写真右:  
サウジアラビア国内で建設中の 4 つの経済特区のうちの 1 区、「King Abdullah Economic City」の完成予想図

#### **SAGIA について:**

サウジアラビア総合投資院(SAGIA: Saudi Arabian General Investment Authority)は、サウジアラビアの新たな外国企業投資法の一部として 2000 年に設立されました。サウジアラビアへの投資の誘致、また最近ではサウジアラビア王国全体の競争力向上を図る役割も果たしています。

SAGIA は、エネルギーのグローバル市場であり東西間の主要なハブ、というサウジアラビアの強みを活かし、同国の急速かつ持続可能な経済的成長の達成に必要な投資を誘致する計画を策定しています。

SAGIA は、ビジネスのしやすい環境、知識集約型の社会、新たなワールドクラスの「Economic Cities」建設を通じ、2010 年までに最も競争力の高い上位 10 カ国のひとつにサウジアラビアを押し上げることを目的としています。

2006 年、競争力向上に向けて SAGIA は、サウジアラビアの競争力の監視、評価、支援を行う独立した機関として「National Competitiveness Center (NCC)」を設立しました。NCC は競争力の評価を実施、開発し、さらに変革プログラムの実施とその結果を監視することを通じ変革を実現するシンクタンクとして機能します。NCC はまた、政府と民間企業間で協議の場を作り出すことでも変革を推進し、現在では、政府・民間企業の関係者が改革に向けて協力し合える場となる「Cluster Advisory Councils」の設立も支援しています。最後に、NCC はサウジアラビアによる競争力獲得への取り組みの成果を記載した「Competitiveness Reviews」などの出版や、NCC のウェブサイト([www.saudincc.org.sa](http://www.saudincc.org.sa))を通じて変革の広報としての役割も担っています。

SAGIA の詳細については [www.sagia.gov.sa](http://www.sagia.gov.sa) をご覧ください。